



シゲモリ翁とゆく  
ニッポン  
「～の隣」散歩

● 8 ●

国際都市・横浜「～の隣」

野毛のあたりに灯がともる

今月のゲスト 大澤祥二さん



散歩翁・坂崎重盛が月替わりのゲストを迎え、人気スポット「～の隣」にある街を巡り歩く『日本』の隣「散歩」。今回は乳製品の鬼にして雑字王・大澤祥二さんとともに桜木町や伊勢佐木町、野毛のあたりを歩いています。観光スポット目白押し横浜の隣にあたるこの界隈、なんだかいいところでした。

思い出の桜木町界隈

JR桜木町駅に集合。伊勢佐木町へと向かってぶらぶら歩き始める。

シゲモリ翁（以下、翁） 桜木町の駅って、かわいそくな駅なんですよ。

大澤（以下、大） へ？

翁 桜木町駅って明治時代に開業した当時は横浜駅だったらしいの。ところが大正になって、いまの横浜駅が開業したら、そっちに名前を持っていかれちゃったんですって。旦那に若い女ができて本妻の立場を奪われたような。

大 横浜のあたりって、昔は砂浜が三浦のほうまで、ずーっと長く続いてたんだって聞いたことがあります。翁 九十九里まで長くなくても、四十四里くらいはあった感じ？

大 そうかも（と軽く流す）。いまは埋め立てられちゃって、見る影もないですけどね。あつ、この先に「武蔵屋」って飲み屋があったんですよ。三杯飲んだらもう帰れって言われる居酒屋。野毛といたら武蔵屋と言われるくらい有名な店だったんですけどね。

翁 大澤親分は、こっちのほうに縁があるの？

大 商社勤務のときに、輸入原料が貨物船で届くのが大黒埠頭とか本牧とかだったんです。で、荷物の検品に行くような感じで「ちよつと横浜行ってきまーす」なんて会社出た後、こころへんで昼間っから飲んでたりして。夜は、関内のクラブへ行くことが多かったかな。

翁 関内駅っていったら、昔の勤め先が横浜球場の真ん前でね。僕なんか若いころ横浜に来てた当時は伊勢佐木町がまだ元気で、若葉町の「ダウンビート」ってジャズバーなんて、よく行ってたなあ。

大 ジャズバーとかジャズ喫茶は、ずいぶん減っちゃ

いましたよね。関内だと「エアジン」なんかは、まだありますけど。若葉町には、「たん右衛門」って、牛タンがめちゃくちゃおいしい店があるんですよ。

翁 へえ、そこは知らないや。僕は若いころ、横浜市の造園部の職員で、関東学院のあたりに下宿してたことがあって、いちばんこのへんで遊んだのは一九六〇年代。まだ戦後の香りがプンプンで、ある大物歌手の弟が若葉町で、ピストル持ってたとかで逮捕されたりしてさ。伊勢佐木町っていったら、伊勢佐木町ブルース！

大 青江三奈ですね。♪ドウドウビドウビ♪

翁 ♪あなた知ってる、港ヨコハマ♪

——青江三奈って名前が色っぽいですよ。

大 伊勢佐木町ブルースの出だしが、なんたって「色っぽいため息」だから。「ニューヨークのため息」のヘレン・メリルの真似っぽいところがありましたよね。

——こころへんの街灯、馬の絵が描いてありますね。大 馬車道だけに。

翁 横浜って、開港したときに租界がつくられたでしょ。だから馬車を通ったりガス灯があったり、街がすぐモダンだったんですよ。